



北方領土

福島県民会議通信

平成28年3月(第4号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

北方領土返還要求北海道・東北国民大会【平成27年8月28日】

本大会は、北方四島の早期返還実現を求める声を挙げ外交交渉を強力に支援するとともに、確固たる意思の下、粘り強く返還要求運動を推進し、国民世論の結集を図るもので、札幌市内で開催されました。

北海道と東北六県の関係機関、団体より約600名が参加し、本県民会議の小林 清美会長が副大会長を務めました。



閉会宣言をする小林会長

戦後70年北方領土問題を考える集い【平成27年9月1日～4日】

戦後70年であると同時に、北方四島が法的根拠なく占拠されてから70年という節目の年を、全国的な規模での北方領土返還要求運動の盛り上げを図る大きな契機と捉えた標記「集い」が、北海道の根室市ほかで開催されました。

本県民会議からは、会員団体であるボーイスカウト福島連盟の推薦により県内大学生2名と増子 恵二 理事(ボーイスカウト福島連盟理事長)が参加しました。

まず、返還運動の後継者たる大学生が、9月1日(火)から9月3日(木)まで別海町、中標津町、標津町、羅臼町の各施設に分かれて北方領土ゼミナールに参加しました。

ゼミナールでは、講師による講義を通じて北方領土問題に関する知識を深め、次に、元島民等を交えてグループ毎に「北方領土問題の現状と課題」をテーマとしたグループワークを行いました。



グループワークの様子(羅臼町)

模造紙に北方領土問題の状況分析、返還要求運動の推進に向けた具体案等がとりまとめられ、学生がプレゼンテーションを行い、質疑応答による議論が交わされました。

最終日には、北方領土返還要求運動の原点の地である根室市の総合文化会館にゼミナールに参加した学生や元島民等、そして返還運動関係者が一堂に会し、ゼミナール報告や学生・北方領土返還要求運動都道府県民会議・北方領土返還要求運動連絡協議会・元島民の各代表による発言が行われた後、北方領土返還要求運動の粘り強い継続と推進を訴えるアピールが参加者により承認されました。（写真提供：(独)北方領土問題対策協会）

都道府県民会議代表者全国会議【平成27年11月30日】

本会議は、各都道府県民会議の代表者が集まり、各県の取組事例の発表や返還要求運動の課題等について話し合うものです。東京都内で開催され、関係者ら約100名が出席しました。

外務省の担当官より「ロシア情勢と日露関係」と題して最近の日露関係を踏まえた講演があり、運動関係者から活発な質疑が行われたほか、独立行政法人北方領土問題対策協会及び都道府県民会議から上半期の啓発事業及び四島交流事業について事業報告があり、課題等について意見交換が行われました。



あいさつをする(独)北方領土問題対策協会 荒川理事長

北方領土返還要求中央アピール行進【平成27年12月1日】

昭和20(1945)年12月1日、当時の根室町長が連合国最高司令官マッカーサー元帥宛に、北方領土返還の陳情書を提出したことから、12月1日を北方領土返還要求運動の原点の日として、北方領土の早期返還への願いを込めて、東京都日比谷公園野外音楽堂から銀座、京橋までアピール行進が実施されました。

出発式には島尻沖縄北方担当大臣が出席し、参加者を激励するとともに、「若い世代に対する広報・啓発活動にきめ細やかに取り組み、関係団体の皆様との連携をさらに密にしながら、すそ野の広い返還要求運動の推進に向けて、全力で取り組んでまいります。」と決意を述べました。

国民の総意の証として全国47都道府県旗を一堂に集結し、晴天の中、総勢93団体、500名を超える参加者が熱意あふれる行進をしました。本県民会議事務局員も福島県旗を掲げて行進に参加しました。

都道府県旗を掲げて行進する参加者



参加者を激励する島尻沖縄北方担当大臣



ほっほうスクール 楽しく、学ぼう、北方領土。【平成28年1月17日】

独立行政法人北方領土問題対策協会と本県民会議の共催で、いわき市のヨークタウンアクロスプラザ大原で開催しました。

女優の外岡 えりか氏が学級委員長、タレントの清水 拓蔵氏を先生として授業形式で進めたステージイベントやパネルを利用したクイズラリーで、北方領土及び北方領土問題について理解を促進しました。

家族連れなどたくさんの方が会場を訪れ、子どもたちはビッグパズルやぬり絵を楽しんでいました。



クイズラリーの様子

ステージイベントの様子



ぬり絵をする子どもたち

北方領土パネル展【平成28年2月1日～5日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて県民の方々に北方領土問題に対する関心と理解を深めていただくために、2月1日～3日に県庁舎内連絡通路、2月4日～5日にコラッセふくしま(福島市)において「北方領土パネル展」を開催しました。

北方領土の歴史や自然、返還要求運動の取組状況等を紹介するパネルを展示したほか、パンフレットやグッズ(ボールペン、クリアファイル等)を配布しました。

また、コラッセふくしまではクイズラリーを実施して、参加者100名に先着で北海道道東産の歯舞昆布をプレゼントしました。

パネル展には北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん:エトピリカ(北方領土の周辺海域で生息する海鳥)の女の子」も応援に駆けつけ、会場を盛り上げました。



パネル展の様子

北方領土返還要求全国大会【平成28年2月7日】

本大会は、内閣総理大臣をはじめ政府関係者、各政党代表、元島民、返還運動団体等、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。本年は日比谷公会堂で開催され、本県からは2名が参加しました。

安倍内閣総理大臣は、挨拶の中で北方四島の返還実現に向けた決意を次のとおり述べました。

「先ほど、元島民の方々とお会いし、直接、その切実な想いを伺いました。『70年以上も待ち続けてきた』、『我々に残された時間は、わずかだ。』、一つ一つの言葉が胸に刺さりました。」「私は、皆様の切実な想い、そして、本日いただきました私への激励のお言葉を、しかと胸に刻みながら、今後も首脳レベルの対話を通じ、この問題の最終的な解決に向けて、粘り強く、交渉に臨んでいく決意を新たにいたしました。」

(写真: 首相官邸ホームページ)



挨拶する安倍内閣総理大臣

大会の最後にはアピールが採択され、北方領土の早期返還を求める国民の固い決意が内外に表明されました。

北方領土返還運動全国強調月間【平成28年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、2月7日の「北方領土の日」を中心に全国各地で積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、福島市におけるパネル展、県内4市(福島、郡山、いわき、会津若松)の路線バスのフロントマスク啓発広告、JR磐越西線車内における中吊り広告などを実施して、運動への理解と参加を広く呼びかけました。

また、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6～7日には県内全域でラジオスポットCMを放送しました。



JR磐越西線車内に掲示した中吊り広告

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

Tel: 024-521-7013 Fax: 024-521-7934 Mail: koucho@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」